




ICT学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校			
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input checked="" type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他()					
	単元(題材)名	高等部園芸班「タブレット端末で作物の生育についてプレゼンをしよう！」					
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> 対象生徒が同じ観点で活動し、自ら考え、意欲的に学習に参加をする。タブレット端末で活動での反省や気づきなど振り返ることができる。 調べた作物を育て、生育状況など写真として記録を残し、Keynoteを使って発表をすることができる。 見通しをもって学習を行い、自ら振り返ることができるようになる。 					
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	1・2年生	年	2	人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末を他の単元でも使用しているが、細かい操作は苦手である。 「何のためにやるのか」「どのようにするのか」等の理解が難しい。 主体的に作物を調べ、たくさん意見を出すことができる。 					
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad					
	使用したアプリケーションの名称	Google Classroom Google スプレッドシート カメラ			  		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援					
ICT活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が入力した日誌を教師複数で確認することができ、生徒も振り返ることができる。 作物の生長、活動の様子を記録として残し、行事等で発表することができる。 						
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ○活用場面 <ul style="list-style-type: none"> 日誌を見て自ら授業を振り返り、良かった点や改善点を考えることができる。 作物の生長や活動の様子を記録で残し、iPadを活用しながらグループで話し合い、発表準備をしている。 ○行った支援 <ul style="list-style-type: none"> 生育状況の記録を残すための意義の指導。 調べ学習やグループ内での話し合いの場を増やした。 ○児童生徒の様子・変容 <ul style="list-style-type: none"> 育てたい作物を調べ、グループ内で話し合い自ら進んで学習に参加することができるようになった。 						